

第14期
事業報告書

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月 31日



／ みつけた！私にできること。 ／

一般社団法人
盲導犬総合支援センター

第14期事業（2022/4/1～2023/3/31）について

当年度の1年間は、事業面でも社会的にもたくさんの分野で正に「怒涛のような14期」と言うに相応しい年でした。

早4年目となるコロナ禍は、国による差はあれども、日本国内では昨年秋以降社会的意識の変化も大きく見られ、忘年会の開催や正月帰省の増加、春先以降ではマスク着用の規制緩和など、社会経済活動の正常化が一段と進みました。

一方、昨年2月に起きたロシアによるウクライナ侵攻。世界が大きく揺れ動いた1年でもありました。

紛争の帰趨は未だ見通せず、コロナ禍からの回復の過程であったグローバルサプライチェーンは、再び脆弱性を露呈することとなり、エネルギー、素材、食料など、歯止めの効かない価格高騰を招き、歴史的なインフレの中、為替相場もかつてない程の変化に見舞われました。

変化の激しい時代の中で、私たちのビジネスモデルは営利と非営利の両立を目指していますが、そのバランスが失われつつあると感じた1年でもありました。収益性については、上半期には近年類を見ない厳しい状況に直面し、上半期決算では経常損失を計上することとなりました。

目まぐるしく変化する時代だからこそ、基軸としての「謙虚と真摯」をより細かく心に刻むこと。常に不確実性の高い環境を想定した「備える」意識を持って、一歩先の準備が伴ったサービスを提供していくこと。そして、それらを「着実に実行」していくこと。

私たちは、盲導犬育成のサポート事業と、応援してくれる方々の気持ちに応えるべく事業を展開しています。今回6期目を迎えた「ファンクラブ会員」の募集では、前年の900名から初めて1000名を超える1131名に達しました。たくさんの方々からの継続した温かい応援を励みに、この信用と人材の強み、そして培ってきたノウハウを活かし、初心を忘れず、基本動作の第一歩からの歩みを続けていくことが重要だと思っています。

2017年から続けてきた「声かけパンフ」の配布活動は、2023年1月に目標としていた100万部の配布を達成、盲導犬育成のサポート事業に於いても、一層充実したサービスの提供と、変わらぬ安心・安全をお届けすることができました。

「透明性ある団体」のキーワードを掲げて法人化してから、私たちはオープンでフェアな姿勢で様々なステークホルダーと信頼関係を築いてきました。新しい「つながり」を生みつつ、これまでの「つながり」を軸に、より具体的で親しみやすい普及活動を皆様と一緒に取組んで参ります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。
それぞれの事業の詳細は、以下の通りとなります。

1. 店舗事業

(1) 神奈川、仙台、富士宮（計3店舗）で商品販売を行った。

- (i) 全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへの飼育用品販売
- (ii) 日本盲導犬協会へ犬具及びドッグフード販売
- (iii) 共同訓練中ユーザーへの推薦される飼育用品紹介と販売
- (iv) 施設見学者、来訪者に対してのチャリティーグッズ販売
- (v) 施設外イベントでのチャリティーグッズ販売
 - A) 日本盲導犬協会との共同参加イベント
 - ・コミックシティ東京6回、玉川高島屋盲導犬育成パネル展1回
 - B) その他社内販売、地域団体、取引先イベント
 - ・ライオンズクラブ国際協会所属地域団体、国際福祉機器展、NECチャリティーコンサートなど 全18回

(2) その他販売活動を行った。

- (i) 視覚障がい者へのリハビリテーショングッズ販売（仙台）
- (ii) 富士ハーネス併設ドッグランの使用料販売（富士宮）
- (iii) 盲導犬育成団体への犬具販売
 - ・東日本、日本ライトハウス、関西、中部、北海道、九州、いばらき
- (iv) 日本介助犬協会へのドッグフード及び犬具販売

(3) 日本盲導犬協会主催イベント補助

- 日本盲導犬協会が主催するイベントの運営協力及び商品協賛2回
- ・オンラインボランティア懇親会（神奈川）
 - ・ビンゴ大会の参加チケットのネット販売、景品の協賛

(4) 支援、協力業務

日本盲導犬協会からの委託業務及び支援活動を行った。

- (i) 募金箱発送業務（仙台）
 - ・発送依頼の専用サイト受注処理、発送完了報告までの管理 724件
 - ・返送募金箱の清掃、廃棄等処理作業及び返送報告
 - ・募金箱に関するすべての在庫棚卸管理 11品種 65,070個
 - ・その他特殊発送対応
- (ii) ハーネス胴輪、ハンドルに関する販売他、管理業務
 - ・胴輪、バーハンドルのメーカー企業との調整、使用後の修理サービス
 - ・盲導犬ユーザーが購入後1年以内の補償対応
 - ・協会使用本数の管理及び在庫資産の棚卸管理と報告 28品種 195個
- (iii) パピー委託用品
 - ・パピーウォーカーへの飼育に必要な用品準備
- (iv) その他

(2) オリジナルグッズの受注製作

支援企業、法人に対し、より独自性を持たせた盲導犬普及活動として、コラボデザインによる営業販促品、ユニフォーム、カレンダーなどの立案。その他、企業の社会貢献活動提案からの、オリジナル商品におけるデザイン制作、商品受注、納品を行った。

エムエム建材、てくてく保育園、平和会ペットメモリアル、ナンセイ SHIPPING、サンギ、オンデーズ、シンキ、オールフォーエスピー、ハイメン、他全 34 社

(3) 盲導犬チャリティーボックスの普及活動

ペット用品売り場での、継続した盲導犬チャリティーグッズ販売コーナーの設置や、チャリティーグッズ販売代理店を広め、グッズ販売を通じた盲導犬普及活動に寄与した。

販売代理店：新規 6 店舗を含む全 205 店舗

ペット用品売り場販売コーナー：ジョイフル本田 18 店舗

(4) 「盲導犬サポート SHOP」カタログの スポンサー獲得

年 4 回定期発行、「盲導犬サポート **SHOP**」カタログの広告スポンサーを獲得した。カタログ及びパンフ媒体による企業 **PR** の場を提供し、スポンサー企業商品の販路拡大を図った。

ビクセン、平和会ペットメモリアル、アスク、三信商会、ネスレ日本、オピカ、国泰ジャパン、ハイメン、ヒライ企画、紙工芸やまだ、他全 20 社

(5) 盲導犬応援プロジェクトの スポンサー獲得

盲導犬応援プロジェクトの「声かけパンフ」を広めるため、企業スポンサーを募り、企業、法人を通じてのパンフの普及に寄与した。また、店舗、病院、盲導犬ユーザー、ボランティアを通じた設置配布、郵送書類への同梱先を開拓し「声かけパンフ」の広域な配布活動を行った。

スポンサー：泉屋東京店、小泉、ジョイフル本田、サンギ、小川工務店、ユーレックス、三信商会、大同至高、ハーネスクラブ、他全 41 社
設置配布：全東急ストア労働組合、仙台総合ペット専門学校、六点会、社会福祉協議会、ペットと一緒に過ごす宿クイール、他全 70 カ所

(6) ライセンス契約商品を通じた盲導犬普及活動

ライセンス契約による盲導犬コラボ商品企画提案とその開発により、企業先販路での商品流通を通じた盲導犬普及活動に寄与するとともに、商品企画の実現をした。

サンギ、ハーモニック、国泰ジャパン、ベリー、we、三信商会、泉屋東京店、TRYL 他、新規ヒライ企画、FMP、ソーシンを含む全 33 社

(7) 支援、協力業務

日本盲導犬協会への協力業務を行った。

- ・職員用ユニフォーム製作
- ・盲導犬 PR コート製作
- ・大型募金箱設置希望店紹介（平和会ペットメモリアル）

(8) 企画・運営

(i) 主催イベント

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

(ii) 年賀状、カレンダー

協力企業運営のもと、年賀状カレンダーを通じた盲導犬の普及活動を行った。

- | | | |
|---------------------|------|---------|
| ・2023年盲導犬チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 65,720枚 |
| ・2023年補助犬応援団カレンダー | 発行部数 | 3,000部 |
| ・2023年うちの子チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 2,280枚 |

(iii) 催事出店

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

(iv) 募金活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

3. 通販事業

(1) WEB 通信販売

- ・「盲導犬サポート SHOP」 <https://www.gomoudouken.net>
会員数：46,420人（昨期比1,882名増）
チャリティーグッズの販売、盲導犬・被災犬応援プロジェクトを展開した。
- ・「盲導犬生活サポート SHOP」 <https://www.gogomoudouken.net>
会員数：3,145人（昨期比207名増）
全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティア情報の管理・飼育用品及びドッグフードの販売を行った。また、盲導犬ユーザーへ向け、犬用品の情報収集・提供並びに企業協力による特価セールを実施した。

(2) 季刊カタログの発行

(i) 4月：盲導犬サポート SHOP Vol.65 20p

・Tシャツ祭り！企画

昨年に引き続き、大好評のTシャツ特集を掲載。着て&見せて応援するチャリティーグッズの定番であるTシャツを、男女・年齢問わず選ばれる豊かなバリエーションで紹介。

- ・声かけパンフのリニューアルに伴い、その詳細について掲載。

(ii) 7月：盲導犬サポート SHOP Vol.66 24p

- ・盲導犬応援プロジェクト号として、特別セットを販売。

盲導犬ユーザーと盲導犬が、もっと安心安全にそして楽しく歩ける社会を目指す「盲導犬応援プロジェクト」に参加してもらうため、限定商品を展開。また見守りメッセージを募集し、そのメッセージを盲導犬ユーザーに届ける企画も同時開催。多くの方からあたたかいメッセージを頂戴し、その声を盲導犬ユーザーに届ける

ことができた。

(iii) 10月：盲導犬サポート SHOP Vol.67 20p

- ・補助犬応援団カレンダーに登録された犬猫の写真で表紙を構成
壁掛けカレンダー枠を購入し、そこに犬猫の写真を掲載し、補助犬を応援するカレンダーを作り上げる企画。かわいい写真が多いため華やかな表紙となった。
- ・泉屋東京店とのコラボクッキー缶に新柄登場
テーマは「盲導犬からの感謝」。いつも応援いただくことへの感謝を、盲導犬たちが開催するクッキーパーティーでのおもてなしで表現。
- ・ギフトシーズンに最適なラッピング用品やラッピング済み商品を充実
のしシールやポストインで手軽に送れるセットなど、ギフト需要にあわせたものを提案し、チャリティーグッズを広げていただくための施策を展開。

(iv) 1月：盲導犬サポート SHOP Vol.68 20p

- ・盲導犬サポート SHOP ファンクラブ第七期募集
前年 900 名程の申込みとなったファンクラブを継続して募集。2 種類から選べるピンバッジ、T シャツを 2 色から選べるようにするなど、入会時の特典に楽しみを加えることで、過去最高人数の申し込みとなった。
- ・新企画「あなたと作るチャリティーグッズ」始動
盲導犬ユーザーやファンクラブ入会者へ、モニター募集を行い、参加型の商品開発を行った。香りを楽しむコーヒーやじゃばら便箋、型抜きバウムなど、お客様コラボでの新商品を実現した。

(3) 盲導犬チャリティー年賀状

15 年続く人気企画。毎年前年の評判を元にデザインや周知方法、配送方法の追加による利便性を改善し、6 万部を超える発行枚数となった。

(4) 応援プロジェクト

(i) 盲導犬応援プロジェクト

盲導犬ユーザーと盲導犬が、より安心安全に歩ける社会を目指す。

- ・「声かけパンフ」総配布数：1,036,900 部（昨期比 254,258 部増）

盲導犬ユーザーへのお手伝いの方法が分かる A6 サイズの冊子を、広く配布し声かけを広める。社会福祉協議会のパンフ設置協力が大きな牽引力となった。

■主な協力・配布企業、団体等（順不同・法人格略）

- ・声かけパンフ

泉屋東京店、日本ランズエンド、GREEN SPRINGS、ジョイフル本田、いなげや、ビクセン、盛総合設計、DOG DEPT、サンギ、スイートルーム、グローバルオートグループ、銀座有楽町内科、宝田歯科、美しが丘動物病院、吉徳、ネスレ日本、ネスレ ピュリナ ペットケア、トライム、オブラブ、ニックナック、日新印刷、荻窪法人会、我孫子ライオンズクラブ、秦野丹沢ライオンズクラブ、東

京亀有ライオンズクラブ、横浜鶴見北ロータリークラブ、千葉幕張メッセライオンズクラブ、紙工芸やまだ、奥本いろは堂、ダッドウェイペット、国泰ジャパン、エムエム建材、ユーレックス、みなみ企画、ピーアンドディーヒロサワ、小川工務店、ナチハマ、フジスター、共進建設、小泉、シンキ、大同至高、BSP、盲導犬を普及させる会、ベストエバージャパン、FMP、ヤマト電機、ハーネスクラブ、仙台総合ペット専門学校、社会福祉協議会各所、全東急ストア労組、ココランド、六点会、武蔵浦和コミュニティセンター

・エルくん熊手ステッカー

盲導犬ユーザーが気持ちよく過ごせたお店に、ユーザー自身が配布するステッカーが全国の様々なお店へ配布された。累計 1,300 枚（昨期比 164 枚増）

(ii) 被災犬応援プロジェクト

福島県の被災犬保護シェルター「SORA アニマルシェルター」と連携を取り、必要な支援を行った。

- ・シェルター全頭分のノミ・ダニ・フィラリア駆除薬：累計 917 個
- ・ドッグフード 661 kg
- ・里親募集ページに飛べる QR コード入りアクリルキーホルダーの作成
3 口以上の支援者へ配布

(iii) 優しい未来を届けよう！BIG エルくんプロジェクト

子供達にエルくんのぬいぐるみを届け、小さい頃から盲導犬に親しんでもらうことで、盲導犬ユーザーと盲導犬に優しい社会を目指す。

- ・保育園：1 か所 3 個

(4) 広報活動

(i) 電子メディアの運営

A) WEB ページ

- ・公式サイト <https://goguidedogs.jp>
会社概要、採用情報、各プロジェクトや犬と暮らす方へ向けたコラムを掲載
- ・通販サイト
チャリティーグッズの販売 <https://www.gomoudouken.net>
ドッグフード・飼育用品の販売 <https://www.gogomoudouken.net>

B) メールマガジン 19,738 名（昨期比 988 名増）

オススメ商品及び犬と暮らす方へ向けた情報、プロジェクト報告の定期配信

C) SNS

- ・Twitter：盲導犬総合支援センター 7,995 フォロワー
<https://twitter.com/goguidedogs>
- ・Twitter：もうどう犬エルくん 9,069 フォロワー
<https://twitter.com/moudoukenLkun>
- ・Instagram：盲導犬サポート SHOP 8,495 フォロワー

https://instagram.com/goguidedogs_design

・ Facebook : 盲導犬応援団 Go!Guide Dogs 10,391 いいね!

<https://facebook.com/GoGuideDogs>

D) SNSでの発信強化

- ・ WEB 限定販売商品「心つなぐマグカップ」
前年好評のマグカップ新色「ピスタチオ」を2週間限定の予約販売を実施。
200個以上の予約となった。
- ・ Twitter 企画「はみがきチャレンジ」
犬猫のオーラルケア意識向上を目的とした、写真コンテストを開催。
歯みがきにチャレンジしている犬猫の写真をTwitterにて募集した。
- ・ WEB 限定「ラッピング用品」のプレゼント
この企画の告知をきっかけに、盲導犬ユーザーのチャリティーグッズ購入が
増加した。

(ii) LINE スタンプ販売

株式会社ジョイフル本田の協力により、エルくんBIGスタンプを製作発売した。
日常的に使いやすい「あいさつ系」や「リアクション系」に加えて、盲導犬ユーザー
へのお手伝いのひとことを盛り込み、声掛けの新たな普及ツールとなった。

(iii) メディア掲載

期間	媒体	内容
2022.9.13	プリーティオンライン	盲導犬とユーザーを応援!かわいすぎるワンちゃんデザインの文房具たち
2023.1.7	東京新聞 H&D ページ	盲導犬ユーザーとのコラボ製作 UD せんす「hirari」

II. 管理・運営・寄付・他会計

1. 理事・顧問・監事・従業員状況（令和5年3月31日時点）

理事 4名、監事 1名、社員 5名、パート 9名

2. 理事会及び社員総会の開催状況

(i) 理事会及びOperation MTG

開催日：毎月第4週1回

議事：月次決算報告、日常業務の執行及び重要業務の協議決定

(ii) ステアリング committee

開催日：毎月第2週1回

議事：体制、課題と成長戦略

(iii) 社員総会

開催日：令和4年5月26日

第1号議事：事業報告及び決算の承認及び監査報告

1 貸借対照表

2 損益計算書（正味財産増減計算書）

3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

第2号議事：役員報酬金額改定に関する件

理事 下村 秀博

3. 寄付金

日本盲導犬協会：1,000,000円（累計額：15,477,737円）

4. 他会計（非営利事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い活動の自粛を継続した。

■ 収入： 52,340円

A) 個人寄付： 0件 0円

B) 法人寄付： 1件 52,340円

C) その他： 0件 0円

■ 支出： 0円

A) 活動費： 0円

B) 管理費： 0円

C) その他： 0円

■ 収支計： 52,340円

詳細に関しては、附属明細書に収支表を記載する。

Ⅲ. 附属明細書

1. 他会計収支計算書（非営利事業）

前年度繰越金額： 366,095 円

収入の部

科目	区分	適応	金額
寄付	個人 (個人名省略)		0
		法人	モンベル (株ベルカディア)
その他	入金		0
	振替	一般会計からの借入金	0
当期収入合計			52,340

支出の部

科目	区分	適応	金額
管理費	事務費	振込手数料等	0
	旅費交通費		0
	会議費		0
活動費	特定フード		0
	プロジェクト		0
	盲導犬ユーザー		0
その他	返金		0
	振替	一般会計への返済金	0
当期支出合計			0

次年度繰越金額： 418,435 円